

ワークシート

※赤字は解答例もしくは生徒の記載例

Qなぜ、世界の工場イギリスは日本と同盟を結んだのか？（予想）

- ・日清戦争で勝利した日本に将来性を感じ、イギリスが困ったときに協力してもらおうとした。
- ・ロシアが実施していた南下政策に対抗するねらいがあるのでは？
- ・日本は中国に近いから、イギリスが今後中国をねらう上で、日本をよいパートナーと考えたのでは？

【アフリカの植民地化】

Task1 独立を維持することができた国を書きだそう。

エチオピア リベリア

Task2 資料【1】～【4】を読み、アフリカ分割が進んだ背景、理由について分析しよう。

- ・当時のイギリスでは市民が安定した生活を送れなかったことや、自分たちが優位な人種であると認識しており、文明があまり進んでいない地域を支配してあげることが当然だと思っていたから。
- ・ヨーロッパ人の安全や商業活動を豊かにするため。
- ・イギリスの人口増加による食料、土地の不足がアフリカ分割を押し進めた。

Task3 イギリスのアフリカ分割における方針をセシル＝ローズの風刺画から読み取ろう。

【図】

アフリカ縦断政策をと
えるローズを描いた当
時の風刺画

『詳説 世界史』p265
(山川出版社 2022年)

ローズの 左足:カイロ(エジプト)

右足:ケープタウン ← ウィーン会議によって英領に

1899年 南アフリカ戦争 VS ブール人

→ イギリスが勝利し、トランスヴァール共和国

オレンジ自由国

併合

⇒イギリスのアフリカ分割の方針：アフリカ縦断政策

Task4 フランスがアフリカに影響力をもち始める経緯をアフリカ分割の地図を基に考えよう。

1830年 アルジェリア出兵 by シャルル10世

1881年 チュニジア併合

⇒フランスのアフリカ分割の方針：アフリカ横断政策

1898年〔 ファショダ事件 〕

～日英同盟が結ばれた理由を考察してみよう～

- ・ファショダ事件や南アフリカ戦争が関係しているのでは？
- ・ロシアの南下政策との関係 イギリスが山東半島の威海衛を租借している。
- ・対ロシアの関係で、日本とイギリスの思惑が一致した？

資料 資料の原文は斜体とした

【1】 ベルリン会議の議定書（1885年）（『世界史史料8』）

第6章 アフリカ大陸沿岸部での新たな占領が有効とみなされるための根本条件に関する宣言

- 1、ヨーロッパ人の安全や商業活動を保証できる実効支配が行われている。
- 2、沿岸地域を占領したヨーロッパの国が内陸部の併合も認められる。

★ベルリン会議：ドイツ首相ビスマルクが開催したアフリカ分割のルールについて決定した会議

【2】 セシル＝ローズの談話（1895年）（レーニン『帝国主義論』）

私は昨日ロンドンのイースト・エンドに行って失業者大会を傍聴した。そして私が、そこでパンを与えよという絶叫にほかならない幾つかの荒々しい演説を聞いて帰宅したとき、私は帝国主義の重要さをいよいよ確信した。

私の抱負は社会問題の解決である。イギリス帝国の4000万の人民を血なまぐさい内乱から守るためには、われわれ植民政治家は、過剰人口を収容するために新領土を開拓し、また彼らが工場や鉱山で生産する商品のために新しい販路をつくらなければならない。決定的な問題は、私が常に言うことだが、胃の腑の問題である。彼らが内乱を欲しないならば、彼らは帝国主義者とならなければならない。

★セシル＝ローズ：イギリスのケープ植民地首相

【3】 帝国主義 セシル＝ローズの言葉（小林良正ほか訳『資本主義経済の歩み』下）

私は、われわれは世界第一等の人種であり、われわれの世界が広がれば広がるほど人類にとって幸福だと主張する。

私は思うのだが、もし神がこの世にいますならば、神は私がアフリカの地図をできるだけ多く英領の印として紅くいろどることを欲したもうだろう。

世界はほとんどすべて分割され尽した。残されている地域も分割され、征服され、植民地化されようとしている。私は、君が夜空に仰ぎ見る星について、私たちが決して到達することのできぬこの広大な世界について思いをめぐらすのだが、できることなら私は遊星をも併呑したい。

【4】 ベルギー国王レオポルド2世の演説（1876年）（『世界史史料8』）

文明のまだ浸透していない地球上の唯一の場所を文明に開放し、すべての人々を包み込んでいる暗闇を突き破ることは、この進歩の世紀の価値ある神の意思にかなう改革運動となる、とあえて私は申し上げたい。人々の感情がその成就に対して好意的であることを身をもって確認できるのは無上の幸福である。